

# 21世紀に ことばの橋を架ける “交流詩”

## 雨宿り

栗田 果奈穂

おぼろな お月様は

今夜は

おおつきな傘を

さして

雨宿りしながら

お空を

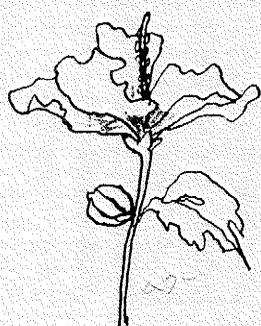
見ている

その目に

大粒の涙が

光っているよ

どうしたのかな



果奈穂の世界 小品シリーズ「心葉絵」—第一章—

一九九六年十月十五日 出版より

## 話仙花出版

ことば道場 花輪楽版 毎月 月末 発行

(発行支援者を募集しています。一年間 一五〇〇円)

※グループで“ことば道場”を体験したい方は、

連絡をいただければ、出張いたします。

個別対談 五〇分 三〇〇〇円

(表記の電話・FAXにて、場所・日時の手配をして下さい。)

栗田 果奈穂 ことば道場 ことば編集人

詩人カウンセラー提唱人

ネイチャーカウンセリング提唱人

巡回『詩と写真展』 三十五回展 まで

ぼえむカード(詩と写真集) ”観光とやま” ”語らい”

私製はがき 8枚セット 五四〇円(税込み)

郵便振替 〇〇七七〇一六四四九七八 深山節代

※

「富山で生まれて富山で幼稚園、小学校、高校、不二越、これではだめです。変わらない。偏見かも知らないですが、閉鎖された考え方が非常に強い。…」不二越、本間会長の言として、伝えられているところ。これを、富山の大人社会への苦言として、聞ける人が、いてくれたらと、願わずには、  
(穂)